

滋賀脊椎センターの診療縮小の解除について

先日ご連絡しましたとおり、4月17日に当院脊椎センター入院後まもない患者様1名に新型コロナウイルス陽性判定が出ました。患者様は入院時より咳などの症状があり、入院翌日の検体採取により陽性判定が出たため、計3日間の個室入院後に指定病院へ転院しました。

接触者一覧の報告を提出した保健所からは、当初、自宅待機が必要な職員は無く、どの接触者も症状が出なければPCR検査は不要、との通達がありました。しかし、センターとしては想定できる最悪の事態に備えて、院内感染がおこっていないことが確認できるまで4週間の新規入院/手術の停止と、6週間の外来新患の新規予約停止を行いました。また、接触者のうち比較的リスクが高いと判断した6名の職員には、2週間の自宅待機を命じました。入院/外来患者様に接触者はありませんでした。

そしてこの間に、同病棟のすべての入院/退院患者様と関係職員の健康チェックを行うとともに、接触者全員を含む計31名の職員/患者様にPCR検査を行い、全員陰性であることを確認しました。すべての退院患者様の健康チェックが出そろった5月15日をもって、院内感染は無かったと結論づけました。

以上の経過により、今後当面の対応として下記の通りとさせていただきます。

- ① 一時停止していた新規入院と手術は、5月16日より再開しました。ただし当分のあいだ、入院人数は平常時の6割程度に制限します。
- ② 脊椎センターに入院予定となった患者様全員に、入院前に（1）体温その他の症状チェック、（2）PCR検査、（3）胸部CT、の三重チェックを行い、いずれか一項目でも新型コロナ感染の疑い所見があった場合には原則として入院は延期となります。
- ③ 外来については、一時停止していた新患の予約受付を6月1日より再開します。ただし、稼働病床数の制限を行っている理由により、緊急的入院や緊急的手術を要する患者様に関しては、入院をお断りする場合があります。

大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、病院の診療体制と地域医療を守るための対策です。
なにとぞご理解いただきますようお願いいたします。

2020年5月16日

日野記念病院 滋賀脊椎センター代表
高 橋 忍